

BtoC ビジネスの実態

2016年4月13日

Rohto-Mentholatum (Bangladesh) limited

新井謙

日系企業の進出

- 味の素（食品） 2011年に100%外資の現地法人を設立し、うま味調味料を発売。
- ホンダ（二輪車） 2012年に合弁会社を設立。隣国からCKDで部品を輸入し現地工場を組み立て、国内販売。
- オムロン（医療機器） 2013年に設立、血圧計、体温計、血糖計などのヘルスケア製品販売。

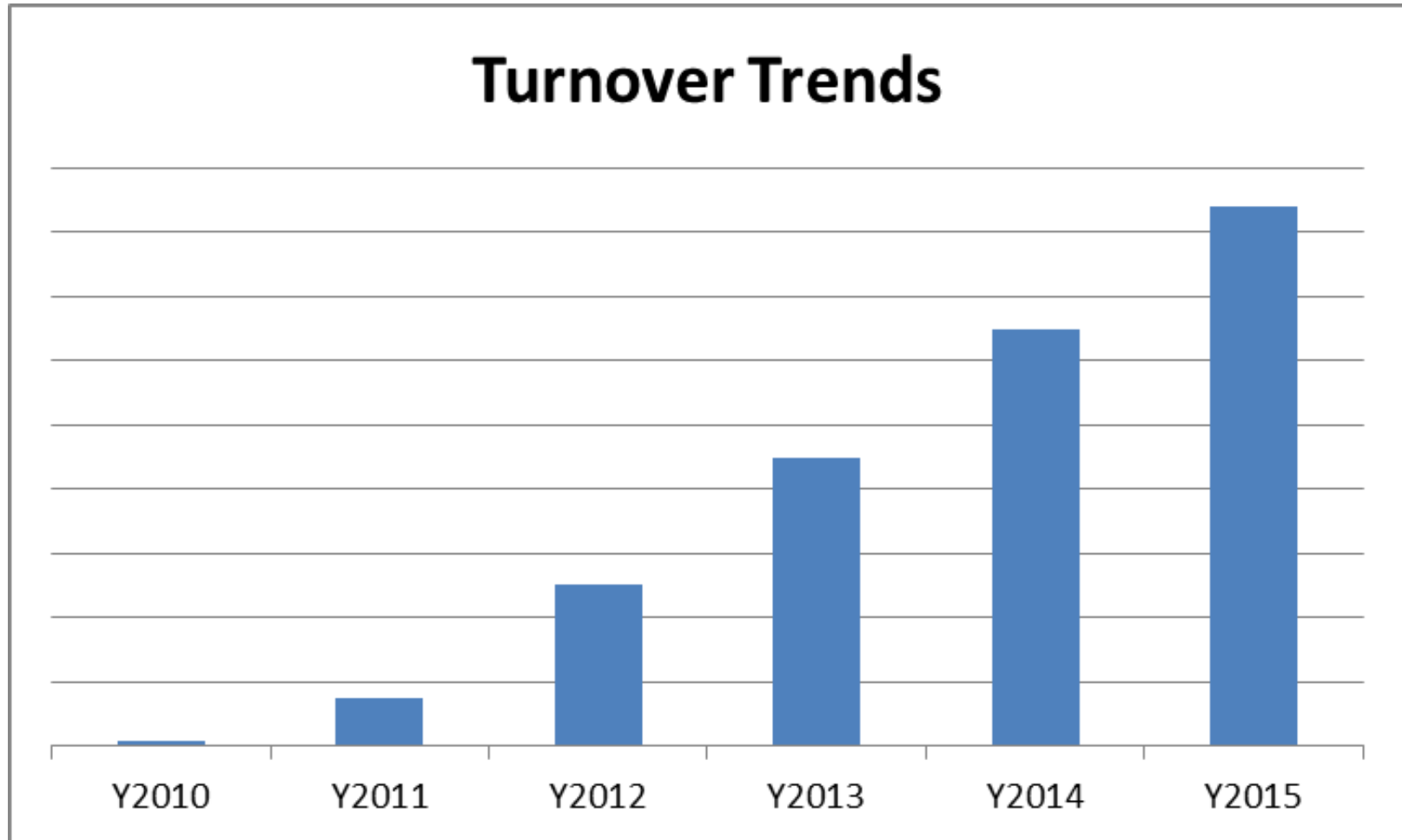
ロート製薬の進出

- 2009年9月 現地市場調査開始
- 2010年9月 現地法人設立



- 2011年 LipIce(リップケア)発売
- 2011年 OXY(男性用スキンケア)発売、及び、Acnes(ニキビケア)発売

ロート製薬 売上推移



小売市場



富裕層向け：ボシュンドラシティー



富裕層向け：ジヨムナフューチャーパーク



中間層向け：メトロショッピングモール



中間層～低所得層向け：
ニューマーケット

小売市場(ハイパーストア)

☪ ハイパーストア

食料品や日用品のほか、化粧品、衣類、家電製品、輸入品などを豊富に取り揃えているハイパーストア。パングラデシュでは2013年にオープンした地場系財閥ユナイテッドグループ(United)運営のユニマート(Unimart)のみが展開。店内にはベーカリーショップやカフェもあり、毎日外国人や富裕層でにぎわう。伝統市場と異なり値段表記がされ、色々な種類の商品と比較して購入できる点が好まれている。



小売市場(スーパーストア)

➡ スーパーストア

いわゆる日本のスーパーマーケット。バングラデシュ初の小売りチェーンストアとして、2001年にアゴラ(Agora)がオープンした。地場企業ではショブノ(Shwapno)、ミーナバザール(Meena Bazar)が同様に国内に多く店舗を展開している。果物、野菜、菓子、飲料などの輸入品も販売しており、高い関税のため高価だが、品質は良い。必要な物を一つの店舗でワンストップで購入できることから、中間層や富裕層が多く利用する。



● アゴラ (Agora)



● ショブノ (Shwapno)



● ミーナバザール (Meena Bazar)

Copyright © 2016JETRO. All rights reserved. 禁無断掲載

小売市場（個人商店）

➡ 個人商店



ダッカ市内の至る所で見かける個人商店。家の近くで安価に購入できることから、低所得層や中間層が食料品や日用品を買い求める。店員に欲しい物を伝えるだけで商品が買えるため、ちょっとした日用品を購入するのに便利。

Copyright © 2016JETRO. All rights reserved. 禁無断掲載

ロート製品 店頭展開



広告メディア

- テレビ広告（十数チャンネル）、地場チャンネルの視聴率は低く、インドチャンネルが見られている
- デジタル、Facebookが人気（763万人）
- 屋外広告（Bill Board）、が効果のあるメディアだったが、市が野外広告を廃止

グラミン・ユニクロとのコラボレーション



価格(リップケア)



LipIce Lipbalm 4.3g
200taka



Meril Petroleum Jelly 15g
20taka



Meril Chap Stick 4.8g
45taka

最後に

- 人口、1億6千万人、将来魅力的なマーケット
- 競業企業少数／小さなマーケットサイズ
- 日用品市場の年間10%弱成長
- 価格／品質センシティブ
- 外資企業に対する参入阻害要因（登記、許認可、税制、LC、送金、インフラ、人材）
- 営業スタッフは、真面目。
- バングラデシュ人は親日的、英語が堪能

ご清聴ありがとうございました。

